

校長室だより

No. 4

平成 29 年 4 月 28 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

今年の誕生日会食 –プレゼントはわたしと子供の共同制作で–

ある時期になると、生活科の「学校たんけん」の学習で、2年生の子供たちが1年生を、1年生の子供たちが園児を校長室に連れてきて説明をしてくれます。その説明を聞いていると、「ここは、誕生日の子が給食を食べるところです。」と多くの子供たちが話しています。思わず「うーん……」となりますが、間違っていない。今年も誕生日の同じ子供を集めて、校長室で会食をします。

毎年このたよりに書いていますが、「誕生日会食」は、誕生の尊さや一人一人の命の重みを感じさせる「いのちの教育」の一つとして行っています。そして、祝ってくれる人が必ずいること、人にはあたたかさがあることを感じてほしいという、わたしの願いがあります。



今年のわたしからのプレゼントは「焼き板」です。廃材をトーチ・バーナーで焦がしたものです。廃材なので、一人一人にわたす形や大きさは違います。「あの板がよい」「この板がよい」ということはなしです。

今年「焼き板」に決断したのは、お金をかけたものでなく自然を感じさせるものがよいと思っていたこと、

廃材も自分の手が加わると愛着がわく物に変わる体験をさせられること、本校がESD教育として環境教育を推進していること等、価値の重なりを感じたからです。

板は、焦がしたままのものを与えます。その焦げた板を自分でぼろ布や新聞紙を使って磨かせます。(ここが大事)さらに、右写真のような見本を示しておき、自分の工夫で、壁掛けや案内プレートにしたり、花瓶や図作品等の台座にしたり、様々な用途に変身させればよいことを伝えます。ここからは自分の工夫です。



【焼き板で作った校長室用の表示】



【4月生まれの子供たち（4・5年）】

校長室には、ペイント用のペンも用意しておきます。休み時間などに描きたい子は、描けるようにしておきます。また、蒲鉾板のように、自分の家でもいない板があれば、一人1枚くらいは焼いてあげる約束もしました。上手に使ってね。

研修を行っています －アレルギー対応・心肺蘇生法・ラジオ体操－

本校では、毎年年度初めにアレルギー（アナフィラキシーショック）と心肺蘇生法の研修を行っています。今回は、22日（土）授業参観後の午後に研修を行いました。

食物アレルギーの場合、給食が始まる前に保護者と連絡を取り、必要がある場合は、個別に点検された献立表を用意しておいたり、エピペンの使用について職員に周知したりしています。しかし、学校で初めてアレルギー反応を起こす場合もあるので、特定の子供だけを意識しておけばよいというものではないことや、職員も実際にアナフィラキシーショックに直面する経験は少ないために、何度やってもこの研修は緊張します。今回も保健室の玉村先生（養護教諭）が、DVDや事例を紹介してくれるだけでなく、消防署から器具などを借りてきて実践的な研修の準備をしてくれました。



さらに、今年は、集団行動の基本とラジオ体操の講習を行いました。本年度赴任された中立教頭先生は、体育が専門の先生です。今までわたしも知らずにやっていたので恥ずかしいのですが、ラジオ体操第一で始めにある「背伸びの運動」は、両手を上に上げた段階では、手を軽く丸め、両サイドに下ろしてい



くときに自然に指先を伸ばしていくということを教えてもらいました。「手を広げる位置は、10時10分、9時15分、8時20分の位置などと伝えるとよいでしょう」と聞き、なるほど、子供に分かりやすい伝え方だと思いました。体育祭のラジオ体操は、今年ちょっと質が高くなりそうです。